

葦山図書館休館のお知らせ

休館期間

9月25日(月)～9月29日(金)

葦山図書館は、特別整理期間のため休館します。これは、図書館の本や雑誌などすべての所在を確認する作業のために必要な休館です。
※中央図書館は通常どおり開館します。

☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

子ども医療費受給者証

を送付します

現在お使いの子ども医療費受給者証の有効期限は9月30日(土)までです。9月末に新しいものを郵送予定です。10月1日(日)からは新しい受給者証をお使いください。

☎ 市役所保健福祉・子ども・子育て相談センター ☎ 0558-76-8008

まちづくりの指針として

市民アンケートを実施します

市では、市民の皆さんの生活環境への意識、市の施策に対する評価および市政への意見・要望を把握し、市政運営の資料とするため、意識調査を行います。抽出された人には、9月上旬に郵送で調査票を送付しますので、ご協力をお願いします。

調査地域／市内全域

調査対象／市内在住の18歳以上の男女

対象者数／1,500人(無作為抽出)

調査方法／郵送調査方法によるアンケート

調査期間／2週間程度を予定

☎ 市役所市長公室 ☎ 055-948-1431

図書館だより

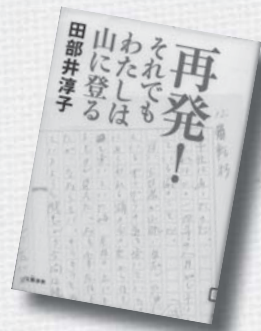
今月のおすすめ ～がんを生きる～

9月はがん征圧月間です。日本人の2人に1人ががんを患うという今、がんについて考えてみませんか。



『焼野まで』村田喜代子(著)

平成23年の東日本大震災直後に子宮体がんが見つかり、放射線治療に通った自らの体験に基づく長編小説。地上の厄災と我が身に巣くう病がもたらす数奇な魂の変容を描く。【葦山】



『再発!それでもわたしは山に登る』田部井淳子(著)

2度目のがんが見つかったから4年半。人生が終わるその時まで、人と山を愛した世界初の女性エベレスト登頂者が綴る、がん闘病と登山の記録。【中央】

■葦山図書館の新聞・雑誌の場所が変わります

紛失などのトラブルを防止するため、特別整理期間後の9月30日(土)から、ブラウジング室の新聞・雑誌を図書館1階フロアに移動します。これに伴い、ブラウジング室は閉鎖させていただきます。



図書館カレンダー
モバイル版QRコード

■『がんで死ぬ県、死なない県』松田智大(著)【中央】

■『抗がん剤治療と上手につきあう本』岩瀬弘敬(監修)【葦山】

■『がん哲学外来へようこそ』樋野興夫(著)【中央】

■『働く女性のためのがん入院・治療生活便利帳』岩井ますみ(著)【中央】

■『安心してがんと闘うために知っておきたいお金の実際』

内田茂樹(著)【葦山】

9月の休館日
中央図書館 4日(月)、11日(月)、18日(月・祝)、23日(土・祝)、25日(月)、29日(金)
葦山図書館 6日(水)、13日(水)、18日(月・祝)、20日(水)、23日(土・祝)、25日(月)～29日(金)

開館時間(共通) 9:00～17:30 ☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

図書館ホームページ <http://www.izunokuni.library-town.com/>

■9月のおはなし会

※いずれも土曜日

中央図書館

9日 11:00～

葦山図書館

9日 14:00～

あやめ会館

16日 10:30～

文化財通信

その147

発見した縄文時代の竪穴住居—大庭遺跡—

☎ 市役所文化財課 ☎ 055-948-1428



縄文時代の竪穴住居
(中央:石囲い炉)

川原石を長内では、仲道A遺跡(三福)に次いで2例目となります。住居の中央には、石囲い炉を長

今回の文化財通信は、本年4月に実施した大庭遺跡の発掘調査についてご紹介いたします。大庭遺跡は、田京、標高約40mの丘陵に位置しています。この丘陵では、これまでの発掘調査により、縄文時代から室町時代の遺跡が広がっていたことが分かっています。発掘調査では、人々が住まいとした竪穴住居などの遺構は埋まった状態であるため、埋まった土を取り除きながら調べていきます。埋まった土の中から出土する土器などの遺物から、いつの時代に営まれたものかを考えていきます。大庭遺跡の発掘調査では、当時の住まいであった縄文時代の竪穴住居、平安時代の竪穴住居を発見しました。縄文時代の竪穴住居は、直径4mのまるい形をした住居であり、住居の壁の周囲には加工した川原石を並べていました。市



石囲い炉

や暖をとったと考えられます。この住居からは、縄文土器、黒曜石の矢じり、石斧などが出土しています。平安時代の竪穴住居は正方形の形をしており、建替えを行っていたようです。住居内からは、当時食器などとして使用した素焼きのお皿が出土しています。今回の調査では、縄文時代、平安時代の集落跡が広がっていることを再確認しました。自然環境、住みやすさなどから、長い間この地が選ばれたことがうかがうことができます。現地での調査は終了しましたが、今後は、土器の水洗、土器や石器の製図など、室内整理作業を行う予定です。整理作業によって、遺跡の実態がより明らかになることが期待されます。

方形に組んだ石囲い炉を作っています。石囲い炉の中に焼けた土が埋まっています。調理